

# わがまちの「ちよつといい話」

NO. 29

「道徳のまち笠松」推進会議  
(笠松町教育文化課)

## ○笠松春祭り

笠松といえは、百五十年受け継がれてきた「大名行列お奴」を思い浮かべる方が多い。春祭り、桜の花が風に舞い、「サー、サーヨイヤ

ナ、コラ、コラッサーノサ」とかけ声がひびく。かけ声と共に、投げ出された毛やりは空に舞い、ここぞとばかり受け手の手中に納まります。この行列には、**全国的にも珍しい「子どもお奴」**が登場します、わが町では春祭りの当たり前の風景です。

## ○お奴新人の誕生

祭りに先立つ十日ほど前、**大名行列お奴に参加する子ども達の練習**がはじまります。夕方、役場前に集まり、**保存会の方々の世話**で、お奴の衣装あわせをします。大人の身ぶり手ぶりを

## わがまち笠松の思いを育む 笠松っ子 お奴に挑む！



ては、足を動かし手を動かします。「サー、サーヨイヤナ…」と声も出します。動きがぎこちなく声も小さいが、日を追うごとに、少しずつ格好がついてきます。新人お奴の誕生です。

## ○地域・家庭・学校が共に

今から二十年ほど前、お奴を演ずる人が少なくなり、この行列をいつまで続けられるかと心配されました。平成三年に**保存会**が作られ、町内の小中学生もお奴演技ができるようになりました。地域・家庭や学校で取り組みが始まり、多くの小中学生がふるさとの文化にふれるようになりました。

## ○笠松、わがまち！

祭り当日、お奴の衣装をまとった子ども達、教わったように手や足の振りを演じ、かけ声をかけます。

人前では練習通りにうまくはいきませんが、これがわが町の文化だと体は感じ始めます。「今度は、「こ」をもっと…」と新たな思いもわいてきます。

この十日あまりの取り組みが、世代を越えた人のかかわりと、この町の文化や風土を引き継ぐ心を育みます。この心は、年ごとに町に満ちあふれ、毎年春の訪れと共に高ぶってきます。



大名行列お奴 (4/12当日)